

第17回 明治以降の「建築美」論争から 日光東照宮をめぐる葛藤

世界遺産に登録されている日光東照宮。陽明門に代表される絢爛たる建築と彫刻は、実は明治以来100年以上にわたり、建築美に関する論争の的となってきました。

内田祥士は、その論争を丹念に追ったうえで、その統一性のなさを都市（東京）になぞらえる視座にたどり着きます。2009年には、研究成果をまとめた『東照宮の近代 都市としての陽明門』を上梓。

今回は、東照宮をめぐる論争の概要を紹介するとともに、日本の建築美とは何か、考えるヒントを提示します。



「日光山ニ東照宮ノ社アリ。其壯麗日本第一称ス。」近代日本はどのようにして、自らの東照宮観を形成していったか。フランク・ロイド・ライト、アーネスト・サトウ、エドワード・モース、エミール・ギメ、ピエール・ロティ、そしてブルーノ・タウトも東照宮を見た。絶賛と拒絶の入り乱れたその評価の秘密とは何か。建築から日本美を問う力作。(amazon より)

【日 時】平成24年 2月18日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】中央工学校 17号館 4階 1741 教室 (東京都北区王子本町 1-26-17)

【講 師】内田 祥士 氏 東洋大学教授

【定 員】60名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO日本民家再生協会内 担当：金井)

TEL：03-5216-3541 FAX：03-5216-3542

Eメール：koremoku@e-mail.jp

【締 切】2月23日(木)

参加者1名ごとに、氏名、所属、電話、ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO伝統木構造の会
有限責任中間法人 日本曳家協会
NPO日本民家再生協会
NPO緑の列島ネットワーク



【交通】JR京浜東北線「王子駅」北口 または、地下鉄南北線「王子駅」より 徒歩5分

■講師プロフィール

内田 祥士氏 (東洋大学教授)



昭和 30 年、東京恵比寿生れ。早稲田大学理工学部建築学科卒。増沢建築設計事務所勤務の後、平成元年東京大学大学院博士課程単位取得後退学、建築設計事務所習作舎を設立。平成 4 年東洋大学講師。平成 18 年博士号取得。

現在、東洋大学教授・建築家。妙寿寺庫裏、茅野市神長官守矢資料館、秋野不矩美術館（ともに藤森照信と共同）、また新築のみならず東洋大学実験工房棟のリフォーム等、幅広い設計を手掛ける。熟慮されたディテールに裏打ちされた作品群は高い評価を受けている。

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第17回 明治以降の「建築美」論争から

日光東照宮をめぐる葛藤 に参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
③	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

FAX 03-5216-3542